

自主防災を意識しよう！ 久米島町防災訓練

11月5日(火)に、久米島町防災訓練(大地震・大津波避難訓練)が行われ、1,591人が訓練に参加しました。4月3日に台湾で発生した花蓮地震により津波警報が発令された時の避難経験から、防災への関心と意識の高まりにより、参加事業所も増えたことで昨年と比べ参加者は300人以上増えています。

今回の防災訓練では、4月に津波警報が発令された避難状況において、課題となった避難場所への車移動による混雑と避難経路を見直しました。配置要員を増やして「車での移動や避難状況を確認」、災害対策本部のシステムへ「LINEによる写真と状況報告」を避難場所から送信し状況の確認を行いました。

また新たな取組として、漁港付近などでドローンの空撮を行い、被害状況がより効果的に把握できるツールとして取り入れ、詳細な情報が分析できるよう訓練を継続していきます。

当日の主な感想に「安全に避難行動をとることができた」「避難ルートの再確認ができた」「防災意識の統一を図ることができた」などの報告のほか、下記意見が寄せられました。

- ・防災無線が聞き取れない
- ・地震発生の放送がなかったので、訓練開始のタイミングがわかりずらかった
- ・高齢者が避難後、ほんのもりで休もうとしたが閉館していたので困った
- ・平日であるため、仕事の人が多く避難場所に人が集まらない
- ・高齢者が増えてきたので、避難時に車を使って移動する人数が増えたなど

防災対策の運営・実施については、今後も工夫を重ね引き続き課題の改善に努めていきます。

防災訓練の様子



避難場所：ほんのもり



避難場所：登武那覇公園

お問い合わせ 総務課 防災担当 ☎985-7121